

11/25 ご当地キャラでお出迎え！
児童が観光列車「海里」の乗客へ、地域の魅力をPR(桑川駅・笹川流れ夕日会館)

さんぼく小学校では山北地域の観光や産業などを学ぶ「さんぼく科」の授業を行っており、6年生は地域の課題や解決方法などについて勉強しています。
この日、児童たちは山北地域のゆるキャラ「観光宣隊ぼしレンジャー」に変装。停車した観光列車「海里」の乗客にお手製のチラシを配布したり、記念写真に応じるなど、地域の魅力PRに大活躍。児童の熱意で駅の構内は大いに賑わいました。



▲観光列車「海里」をお出迎え

11/28 地域の社会福祉を支える方々に感謝
民生委員・児童委員および主任児童委員退任並びに辞令伝達式(総合文化会館)



▲退任される方に感謝状が伝達されました

民生委員・児童委員および主任児童委員として退任される68名の方へ、感謝状が伝達され、令和4年12月1日付けで委嘱される139名の民生委員・児童委員と13名の主任児童委員の方へ、委嘱状が伝達されました。
市長からは、「8月の豪雨災害時には、細やかな気配りで、本当に活躍くださいました。本市の社会福祉を支えてくださる方々へ、改めて感謝したい。」とお礼を述べました。

12/1 水害復興を祈願して
「だいすき！あらかわ」のぼり設置(JR坂町駅前商店街)

JR坂町駅前の商店街の賑わいを取り戻そうと、荒川商工会青年部と商業部会、地域団体フリースタイルアラカワが協力し、駅前周辺の事業所に「だいすき！あらかわ」ののぼり旗を設置しました。
この取り組みを企画した荒川商工会青年部の佐藤拓郎部長は「いまだに駅前の活気が戻っていないといった声も聞こえますが、こののぼり旗で、まち全体が水害からの復興に一体となって取り組んでいることを感じてほしい」と話していました。



▲荒川商工会青年部の皆さん

12/4 集落に活気と新しい風を「ももかわ桃源郷倶楽部」
収穫祭～そば打ち体験～(桃川集落)



▲参加した小学生も一生懸命そばづくりを行いました

桃川集落では、交流人口の増加と関係人口創出・拡大を目的として「ももかわ桃源郷倶楽部」を発足し、農業体験や歴史文化に触れる体験などの活動を進めています。今回は、新潟市などから、ももかわファン22名が集まり、そば粉から練って麺をつくりました。
参加者は「細く切るのが難しかった」「そば蕎麦が美味しかった」と話し、「また活動に参加したい」という声も聞かれるなど、活動の成果が少しずつ表れてきました。

歯の健康シリーズ③
かかりつけの歯医者をもちましよう

問い合わせ 保健医療課健康支援室 ☎53・2111 (内線2440～2443) 記事ID 0042187

皆さんはかかりつけ歯医者がありますか？村上市歯科保健計画(第2次)では、全ての市民が「生涯自分の歯でしっかりと食べられる」ことを目指し、「かかりつけ歯医者をもち定期歯科健診の定着を図る」ことを推進しています。

かかりつけ歯科医で健康維持

口腔内にある歯周病菌には、動脈硬化を促進する働きがあることをご存じですか？歯周病は糖尿病や狭心症、心筋梗塞といった心疾患、認知症などに繋がります。

そのため、痛みがあるなど、症状が出てから歯科医院を受診するのではなく、定期健診を受け口腔内の状態を良好に保つことが、全身の健康維持にもなります。

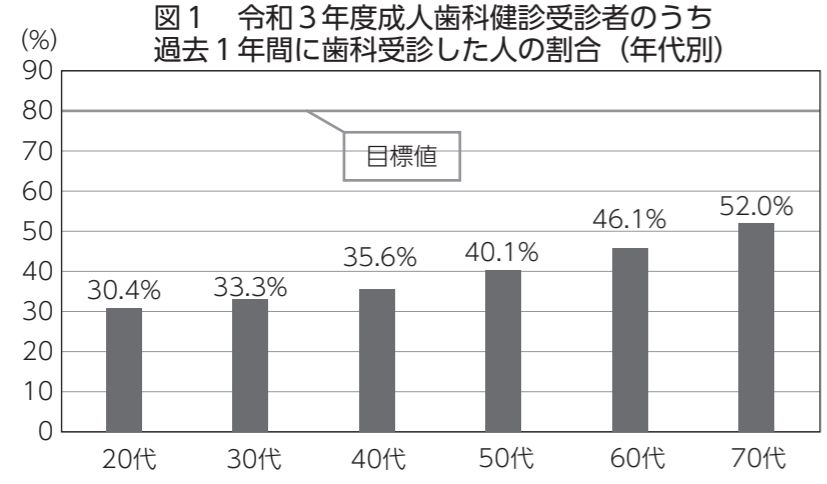
かかりつけ歯科医とは、子どもから

高齢者まで継続的に状態を管理し、病気の発症・重症化予防のために、口腔や全身の健康維持増進を図ってくれる歯科医のことです。定期的に口腔内を診てもらつと、少しの変化に気づき、早い段階から適切な処置ができます。自分の状態を知っている先生に口腔、身体管理をしてもらえると安心感も得られます。

定期受診している人の割合

令和3年度成人歯科健診受診者のうち、過去1年間に歯科受診をした人の割合を年代別にまとめました(図1)。いずれも市の目標値である80%には到達しておらず、特に若い年代の健診受診率が低くなっていることが分かります。ぜひ若いうちからかかりつけ歯科医を持ちましよう。

また、今年度の無料歯科健診対象者には、6月に案内を送付しました。2月末まで受診可能ですので、まだ受診していない方はぜひ無料歯科健診を受け、歯の健康、体の健康を保ちましよう。



佐藤一さん(85歳/新屋)は、現在自分の歯が20本以上あります。1日4回の歯磨きを何十年も続けています。その間、歯石の除去など、かかりつけ歯科医で定期的に口腔のチェックを行っています。
「自分の歯の健康状態を知っている先生がいるというのは、何かあったときに心強い。身体に栄養を取り込む入口は歯だ。歯がしっかりしていないと、おいしく栄養も取れない」と話していたことが印象的でした。
また、佐藤さんは今年の特健診で、受診が必要である項目はありませんでした。口腔内の健康が体の健康の維持増進に繋がっているのかもしれない。